

オンライン・ライブ配信 公開シンポジウム

令和3年3月27日（土）
13：00～17：30

参加申し込み：
下記urlもしくは
応用生態工学会HPより
お申し込みください。

<https://forms.gle/LhjTRPvfErgDjoDPA>
右のQRコードからも申込みできます。



東日本大震災から10年が経とうとしています。未曾有の大地震がもたらした津波は沿岸域の生態系にどのような影響を及ぼし、その後沿岸域生態系はどのように変化したのでしょうか？震災後の沿岸生態系の変化を見てきた研究者が、震災影響とその後の変化について学術面から明らかになったことを報告し、この10年を振り返ることで、沿岸生態系保全の今後の課題や、より良い防災インフラの整備について議論します。

黒沢高秀 福島大学

「津波浸水域の植物の種多様性の震災影響とこの10年の変化」

岡浩平 広島工業大学

「大津波から蘇る砂浜海岸エコトーンのレジリエンス」

金谷弦 国立環境研究所

「蒲生干潟における環境・植生・底生動物のうつりかわりー震災後10年間の変化」

松政正俊 岩手医科大学

「岩手県沿岸の汽水域の変化：特に宮古湾と広田湾の干潟について」

占部城太郎 東北大学

「井土浦と東谷地の10年：復興工事と保全の隘路」

パネリスト

竹門康弘（京都大学） 高橋真司（東北大学） 萱場祐一（土木研究所研） 佐藤慎一（静岡大学） 鈴木孝男（みちのくベントス研究所） 平吹喜彦（東北学院大学） 松島肇（北海道大学）

主催：応用生態工学会東北

（問い合わせ：ouyouseitai.tohoku@gmail.com）

共催：東北大学生命科学研究科、日本生態学会東北地区会、日本景観生態学会、植生学会、自然環境復元学会、日本ベントス学会自然環境保全委員会

協賛：三井物産環境基金、アースウォッチ・ジャパン

後援：国土交通省東北地方整備局、宮城県、仙台市、（一社）日本環境アセスメント協会東北支部、（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部、（一社）東北地域づくり協会

東日本大震災からの再生
沿岸環境の変化10年と今後の課題